

01.

ゆかたの着方
女性編



1 左右を対称にする



衿のつなぎ目を両手で持ち、顔の中心で合わせ、左右の身頃を均分にする。

2 着丈の長さを決める



片手を軽く伸ばした位置で衿を両手に振り分け、裾を一度持ち上げてから水平に下ろし、踝ギリギリの位置でとめる。

3 前幅を決めて裾を合わせる



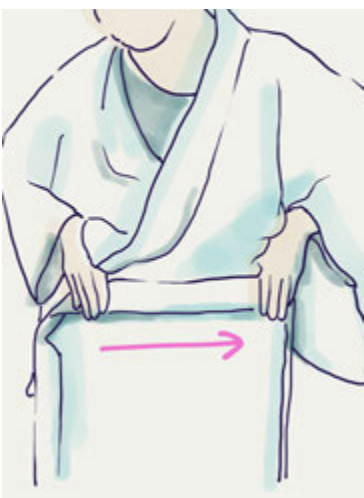
左身頃の端が右側の腰元の出っ張っている部分を少し隠すようにして身幅を決める。左手を開き、右手を左腰にあてるように右身頃をかぶせる。

4 右手は抜かずに左身頃を重ねる



左身頃を③で決めた位置に戻すように、右身頃に重ねる。この時点で右手はまだ抜かず、右腰にあてた左手で裾の端を5センチほど持ち上げる。

5 腰紐を当てる



③の左手で押さえた位置に腰紐の中心を当て、左手で紐を滑らすようにしてあてる。腰骨の上部あたりに腰紐がくるように。

6 腰紐を締める



腰紐を後ろで交差させ、左右の手に持ち替えて、体の脇で左右に引き、しっかり締めて前で結ぶ。

7 背中まわりを整える



脇の開きから両手を背中に差し入れ、図のように左右に切り開くように手を滑らせて、後ろのおはしよりを整える。

8 衿を抜く



両手で背縫いを持ってぐっと真下に引き、こぶし一つ分ほど衿を抜く(首から離す)。

9 前を整える



右手で外側、左手で内側の衿を左右同じ高さで持ち、喉元から腹部に向かって引っ張って前身頃を整える。

02.

帯の結び方
角出し

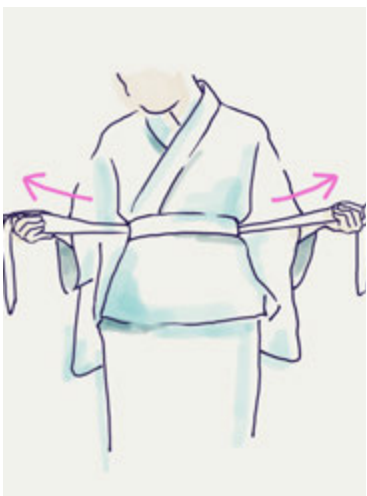


10 左右を対称にする



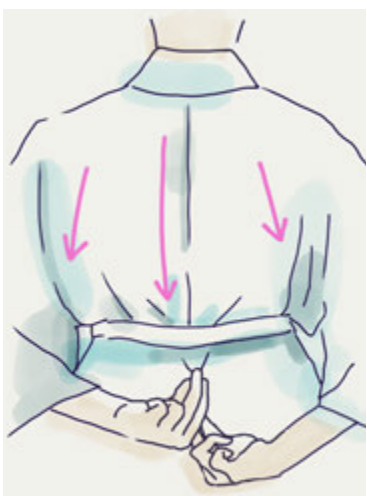
喉元のくぼみが隠れる位置で衿を合わせる。バストトップより少し上の位置で衿を左右に引き、衿元が75〜90度の角度になるように合わせる。

11 胸紐を締める



アンダーバストの位置に紐をあて、後ろに回して交差させ、真横にゆっくりじわっと引いて前で結ぶ。

12 背中まわりのたるみを取る



背縫い部分を、紐のすぐ下のところを持ち、両手で真下にぐっと引く。仕上げにに肩甲骨の下と脇もしっかり引いてたるみを取る。

1 一帯の巻き始め



帯を背中から回して抱えるように持つ。左手に持った方を体の真ん中から床にギリギリつかない程度に垂らし、体の中心前で、図に沿って帯の幅半分折る。

2 一帯をひと巻きする



右手の帯をひと巻きしたら、左手で半分に折った方の帯を左脇まで引き抜きながら、右手は帯を下から持って真横に引いて、胴に巻いた帯を引き締める。※右側の帯は右脇から斜め上内側に折り返し、幅を半分にしておく③で結びやすい。

3 ひと結びをする



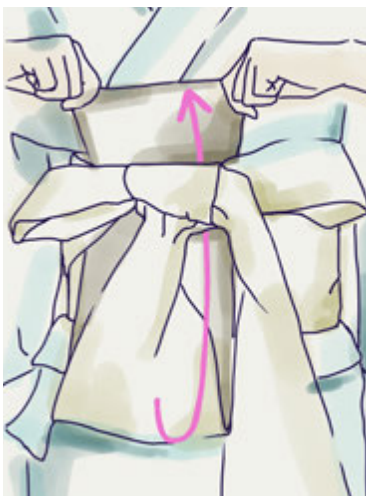
左手側の帯を右手側の帯の上から重ね、下から上にくぐらすようにひと結びする。胴回りの帯の上の方で結ぶのがポイント。

4 一ちようちよ結びをする



左右の羽根が体の身幅くらいに収まるように同じ大きさに揃えてちようちよ結びにする。この羽根が帯の形を決めるポイントとなる。

5 右側のたれを巻く



右側の帯の先端を持ち、下から胴に巻いた帯と③で作った結び目の間を通して上へ引き出す。両手で端を持って引き出すのがコツ。

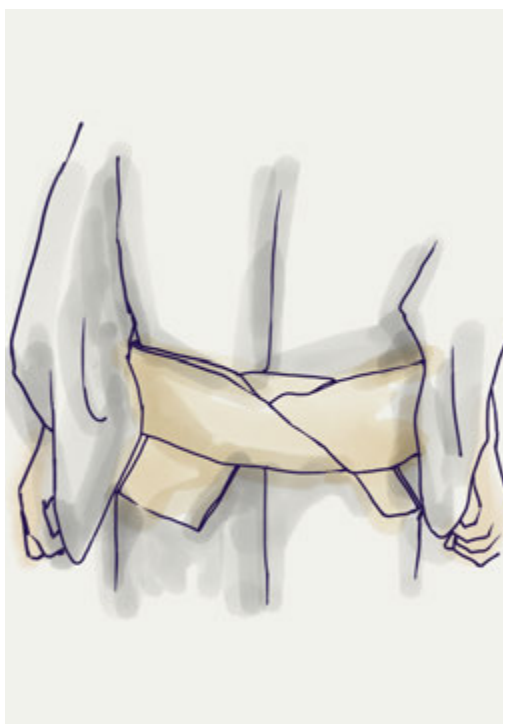
6 左側のたれを巻く



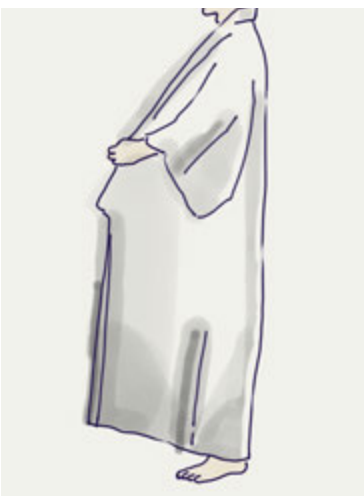
左側のたれの巻き方は、垂れた長さが膝より上なら⑤の手順と同じでOK。長い場合は⑤を繰り返す。最後に結び目を右方向へ後ろに回して正面に帯板を入れて完成。

03.

ゆかたの着方
男性編
浪人結び（片ばさみ）



1 左右を均等にする



左右それぞれの手で衿先を持ち、顔の中心で合わせる。

2 右身頃を身体にあてる



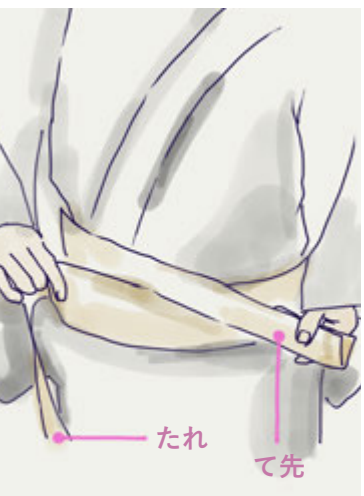
右手の衿先を持ったまま身体に巻きつけるようにして、左腰骨にあてる。

3 左身頃を身体にあてて固定する



左側も同じ様に身体に巻きつけるようにして合わせる。腰紐は腰骨より下腹部あたりの位置で結んでおく。

4 1帯のて先をつくる



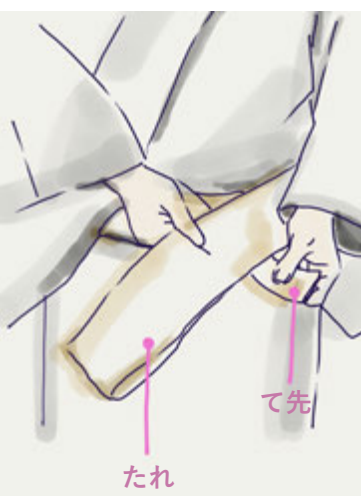
右側の帯の先から30〜40センチ程を幅半分に分る。(この折った部分をて先と呼ぶ) て先を上に乗せる形で左手のたれを2回程身体に巻きつける。

5 1たれの長さを整える



巻き終わりの余ったたれをて先より少し長くくらいに内側に折り込んで整える。たれが長すぎる場合は④の時点で身体にもうひと巻きしても良い。

6 1て先とたれを交差して結ぶ



⑤で折った左手のたれの上に、て先が下にくるよう交差させる。たれをて先に巻き付けるようにひと結びする。

7 2下の方向へしっかりと引く



結ぶ時、て先の方を下にくくと引くように締めるとしっかりと締まる。

8 1上に出たたれを整える



上に出た部分を体と胸帯の間に入れ込む。帯の下から少し見えるくらい出ればOK。

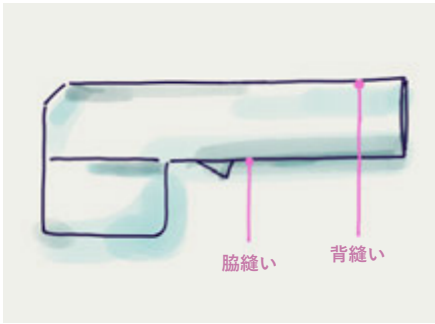
9 1結び目が完成。背中側に回す



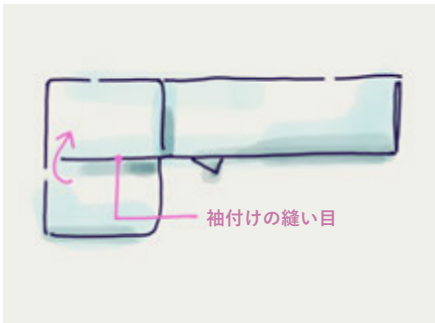
下に出たたれをグッと引っ張って整え、結び目が背中中心になるよう右方向へ回す。※帯の高さはへそより下になるように。

ゆかたのしまい方&たたみ方

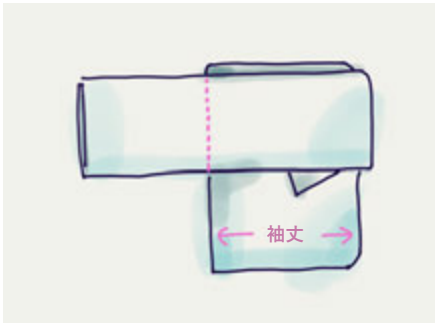
1. 脱いですぐに吊るし、湿気を飛ばす。
2. 自宅で洗濯しても OK。
3. 保管は、たたんでたとう紙か木綿の風呂敷に。



④背縫いに沿って折るように手前にたたむ。両袖と裾をピッタリと合わせる。



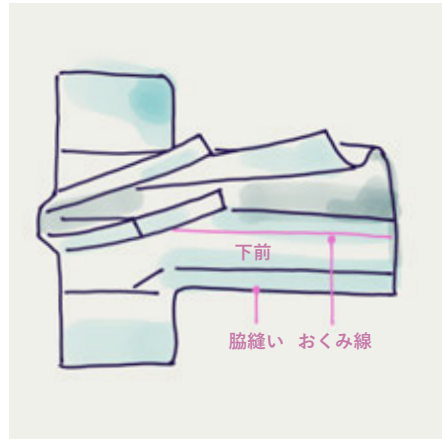
⑤上側の袖を袖付けの縫い目に沿って折り上げる。



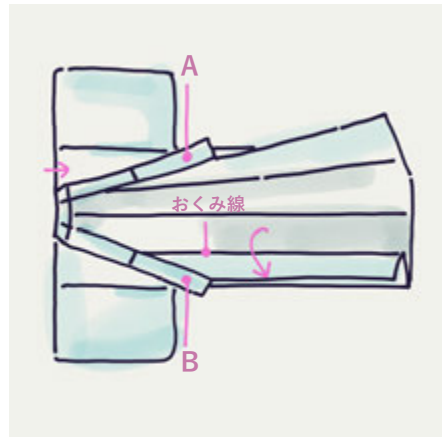
⑥裾を持って衿側に大きく折り返し、袖丈を目安に点線の位置で折り返す。



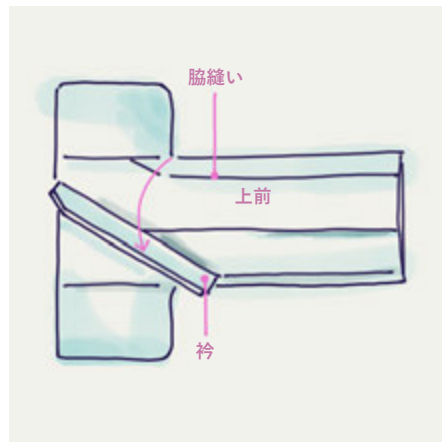
⑦最後に下側の袖を矢印の方法にたたむ。完成。



①床や大きめのテーブルなど平たい場所にゆかたを広げ、下前を脇縫いのおくみに折り返す。



②下前のおくみ線のところで手前に折り返す。衿の部分は矢印の方向へたたんでおく。



③上前を脇縫いに沿って折返し、②のA Bの衿と裾をぴったり合わせる。